

陳情第 37 号

陳情「若葉小学校とけやき台小学校の統廃合計画は凍結して下さい」

1 受理年月日 平成28年11月21日

2 陳情者 立川市若葉町3-74-14
若葉町教育問題連絡会
代表 石川 清

3 陳情の要旨

第1、本年、若葉町住民・保護者から、学校統合に対する請願と陳情がその都度、立川市教育委員会・立川市議会へ提出されてきました。しかし、「地盤の不安定さ、狭いけやき台小学校の敷地、大規模校の建設への疑問、五日市街道の児童横断の危険性」などについて不安が募る中、何ら納得のいく対応は示されてきませんでした。

従って、住民・保護者の中には市政への不信と混乱とあきらめ感が広がっています。これはこの統合計画が、一部の住民の請願を受けて十分な検証がないままに市議会において可決したことに起因するものと考えます。よって、行政・市議会の責任としてこの統合計画は凍結し、住民、保護者との話し合いの場を設けてください。

第2、環境が良くて住みやすい若葉町の2つの都市再生機構の団地において、高齢者、障害者、子育て世帯等の人たちの交流があります。地域に根ざした文化・スポーツの活動の場と共に地域防災の面からも若葉小学校とけやき台小学校の存在は欠かせません。よって、統合計画は凍結してください。

第3、1999年3月立川市議会において、「子供たち一人一人の健やかな成長を保障するため」「一刻も早く30人学級の実現を求める意見書」採択を要求する請願が全会派一致で採択されています。

この2年間、若葉小学校とけやき台小学校の統廃合問題で多くの論議が行われてきました。両校が統合することで児童数700名近くの立川市一番のマンモス校になり、子どもたち一人一人にとってきめ細かい教育が受けられないなど、上記の請願に矛盾するものです。

若葉小学校とけやき台小学校の統合計画を凍結し、少人数学級を実現させてください。